

認知症に関する活動計画(概要)

徳島県作業療法士会では、認知症支援推進委員会を設置し、活動を行っている。2018年に当士会の認知症支援推進委員会が作成した介護予防ツール「ラシーサカード」を用いて、今年度も地域での活動を継続し、新たな講師依頼も引き続きあり。また、今年度それらの活動が徳島新聞にも取り上げられ、さらに活動の幅が広がった。また、県からの依頼を受け、フレイル予防目的でPT、OT、ST、管理栄養士4つの専門職を通いの場へ派遣するモデル事業にも参加した。会員に対しては2017年頃より行っている「認知症OTカフェ」をリニューアルし、事例を通して認知症支援に関するディスカッション形式の研修会を実施した。

地域向け事業

「ラシーサカード」を用いた地域のサロンでの健康教室の講師依頼は継続中である。県内人口3位の鳴門市での健康教室を始め、今年度は徳島新聞にも掲載されたため、新たな地域からの依頼や問い合わせが多数寄せられ、より一層活動の幅が広がっている。

県からの依頼で参加したフレイル予防目的でPT、OT、ST、管理栄養士4つの専門職を通いの場へ派遣するモデル事業にて、認知症予防に関する支援として、「ラシーサカード」を使った健康教室を行った。

また、毎年参加している鳴門市での交流会イベントへ今年度も参加し、徳島県作業療法士会認知症支援推進委員会は年間通して積極的に地域事業に参加している。



↑徳島新聞掲載

会員向け事業

今年度も、「ラシーサカード」の使用研修も実施し、作業療法士として地域で活躍できる人材育成を図っている。今年度より、認知症に関する地域事業への講師依頼も増え、派遣する講師の数も昨年度より2倍ほど増えている。

2017年頃より行っている認知症OTカフェをリニューアルし、今年度は4つの事例を通して、若手参加者の質問や苦労体験に対して、ベテラン参加者が助言やアドバイスをしたりと有意義な研修会となった。

当委員会の積極的な活動に伴い、当委員会の活動に興味を持つ会員も増え、研修会への参加人数も昨年度より増えている。



↑ラシーサカード研修会



↑お菓子を食べながら
認知症OTカフェの様子

今後の展開

「ラシーサカード」を使用したサロンでの健康教室の依頼を引き続き募集し、研修会の開催を継続予定である。また地域の要望に柔軟に対応しながら地域で活躍できる作業療法士の育成にも貢献していく。現在、ラシーサカードの第二弾を検討中である。地域の要望に合わせてデュアルタスク的な内容も盛り込んでいく予定である。また、今年のアルツハイマー月間にはハイブリット形式での会員向けの認知症研修を予定している。

イベントブースでの様子→

